



2021年3月期第1四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2021年3月期第1四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 上原悦人		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223,312,500円		
グループ会社数	〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数	〔グループ全体〕 5,857名	(当社単体)	6名
		(連結子会社)	5,396名
		(持分法適用関連会社)	455名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	37,308,638,500円

2020年6月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2020年6月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) ※	44.31%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.19%
<small>※ ソリッド銀行は、2020年5月26日付で、第三者割当増資を実施しており、その結果、当社の議決権比率が減少しております。(45.42% → 44.31%)</small>		
【再生ビジネス】		
IT(デジタルコンテンツ事業)	● iXIT株式会社	96.77%

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

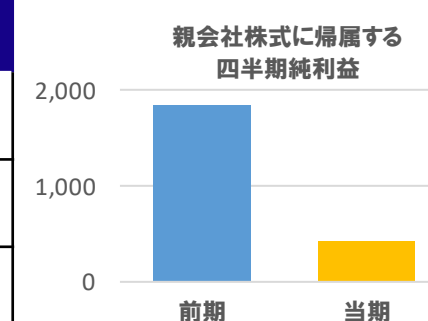
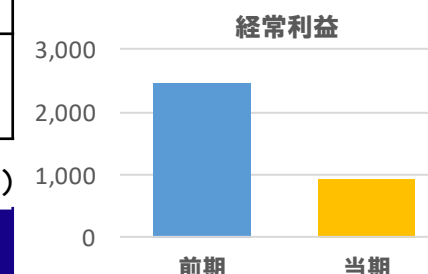
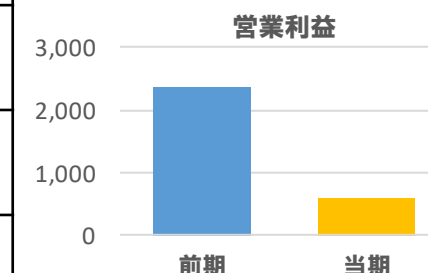
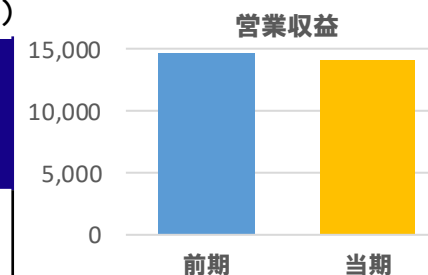
● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	2006年 設立（2007年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	2006年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	2005年 株式を取得
● iXIT株式会社	2015年 株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2020年3月期 第1四半期 (2019年4月~6月)	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月~6月)	前年同期比
営業収益	14,693	14,214	96.7%
純営業収益	6,873	6,251	91.0%
営業利益	2,351	580	24.7%
経常利益	2,453	906	36.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,843	429	23.3%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2020年3月期 (2020年3月末時点)	2021年3月期 第1四半期 (2020年6月末時点)	前期末比
総資産	469,659	458,191	97.6%
純資産	80,613	77,119	95.7%
現預金	108,380	98,115	90.5%

連結業績の主な増減要因

■【銀行関連事業】 ハーン銀行は増収減益

モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績が低迷したため、銀行関連事業の営業収益・営業利益は前年同期比で減少。

ハーン銀行の減益の要因は、2020年1月に施行された年金担保融資に関する法律の影響、および新型コロナウイルスの拡大による景気悪化の影響。

営業収益 121億69百万円（前年同期比 3億47百万円減）

営業利益 4億24百万円（前年同期比 18億32百万円減）

■【証券関連事業】 エイチ・エス証券(株)は増収増益

エイチ・エス証券は、マーケット環境がわずかに改善し個人投資家の売買が増加したこと、また、米国株式取引が順調に増加したことにより、証券関連事業の営業収益・営業利益は前年同期比で増加。

営業収益 8億16百万円（前年同期比 47百万円増）

営業利益 56百万円（前年同期比 39百万円増）

■【債権管理回収関連事業】 エイチ・エス債権回収(株)は減収増益

エイチ・エス債権回収は、前年同期において大型債権群からの回収等があったため、当第1四半期の売上高(債権回収高)は相対的に減少したが、債権回収高自体は堅調に推移しており、営業利益は前年同期比で大幅な増加。

営業収益 10億30百万円（前年同期比 82百万円減）

営業利益 1億41百万円（前年同期比 76百万円増）

セグメント別業績

2021年3月期第1四半期 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	12,169	816	1,030	217	132	14,214
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 12,169 内 -	外 798 内 18	外 1,030 内 -	外 215 内 1	外 0 内 131	-
営業利益	424	56	141	△47	50	580
経常利益	424	69	108	△49	447	906

2020年3月期第1四半期 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	12,516	768	1,113	313	100	14,693
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 12,516 内 -	外 750 内 18	外 1,113 内 -	外 312 内 1	外 0 内 99	-
営業利益	2,257	17	64	△4	18	2,351
経常利益	2,257	38	36	△6	181	2,453

※ 営業収益の内訳 (外:外部顧客に対する営業収益/内:セグメント間の内部収益又は振替高)

※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

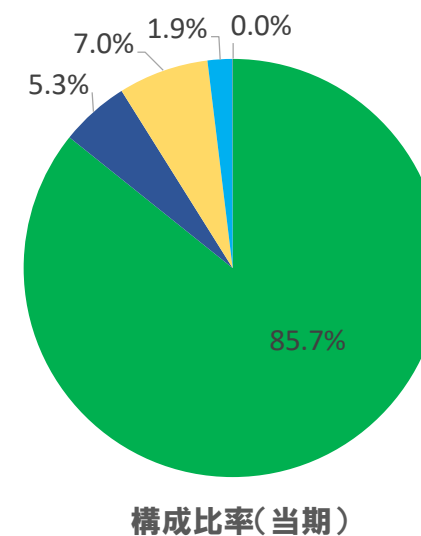
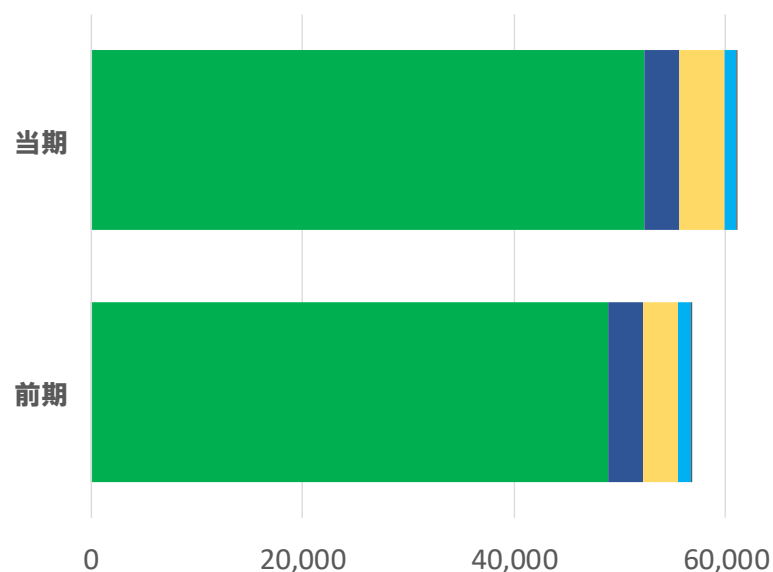
営業収益の構成

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

セグメント	期間	2020年3月期第1四半期 (2019年4月～6月)	2021年3月期第1四半期 (2020年4月～6月)	前年同期比
銀行関連事業		12,516	12,169	97.2%
証券関連事業		750	798	106.3%
債権管理回収関連事業		1,113	1,030	92.6%
IT関連事業		312	215	69.1%
その他事業		0	0	100.0%
合計		14,693	14,214	96.7%

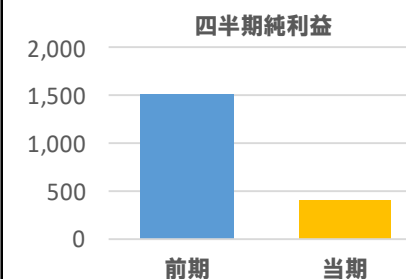
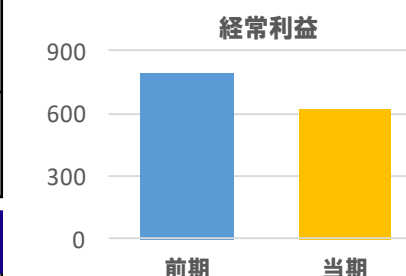
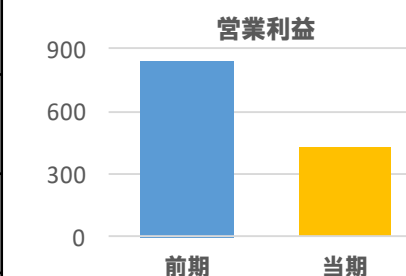
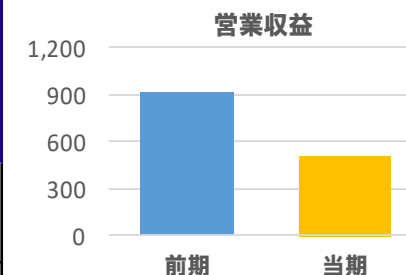
■ 銀行関連事業 ■ 証券関連事業 ■ 債権管理回収関連事業 ■ IT関連事業 ■ その他事業



澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2019年3月期 第1四半期 (2019年4月～6月)	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月～6月)	前年同期比
営業収益	919	510	55.5%
営業利益	836	428	51.2%
経常利益	791	620	78.5%
四半期純利益	1,503	406	27.0%
総資産 【前期末 / 当四半期末】	27,581	27,703	100.4%
純資産 【前期末 / 当四半期末】	27,330	27,287	99.8%



主な増減要因

- 関係会社からの配当金や経営管理料が減少したことに伴い、前年同期比で減収減益。
(ただし、関係会社配当金・経営管理料は内部取引のため、連結業績には影響しない)
- 為替差益の計上があったものの、経常利益は前年同期比で減少。
- 前期は九州産業交通ホールディングス(株)等の投資有価証券売却益547百万円を特別利益に計上していたため、当期純利益は減少。

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	2019年12月期 第1四半期 (2019年1~3月)	2020年12月期 第1四半期 (2020年1~3月)	前年同期比
所在地	モンゴル国 ウランバートル	Interest income (資金運用収益)		270,439	275,072	101.7%
資本金	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)		95,130	94,493	99.3%
議決権の 所有割合	54.41%	Profit for the period (四半期純利益)		38,699	13,848	35.8%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		10,211,281	10,079,881	98.7%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、資金運用収益、預金残高は増加したものの、融資残高は減少となった。
- 新型コロナウイルスの影響による中国への資源輸出制限等によりGDP(1-3月)は前年同期比10.7%減少し、モンゴル経済は停滞基調。
- E-バンキングサービスの推進、紙幣還流式ATMの増設等により支店の混雑は大幅に緩和。また、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に注力。

	2019年3月末	2020年3月末	前年同期比	【為替レート】 2020年3月末 1円 = 25.62MNT 2020年1月~3月平均 1円 = 25.35MNT
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	6,394,161	7,713,225	120.6%	
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	4,343,690	4,237,163	97.5%	

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目 \ 期間	2020年3月期 第1四半期 (2019年4月~6月)	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月~6月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	768	816	106.2%
資本金	3,000百万円	営業利益	17	56	330.6%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	38	69	183.1%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益	41	46	109.8%
		総資産 【前期末/当四半期末】	34,301	36,582	106.6%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 2007年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 当第1四半期は、マーケット環境が改善し個人投資家の売買が回復した。また、米国株式取引が順調に増加したことにより増収増益。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、外部環境に左右されない安定的収益の確保や、フィデューシャリー・デューティ(顧客本位の業務運営)の確立、インターネット取引の利便性向上及びシェアの獲得を目指す。
- 6月17日、株式会社東京証券取引所より、同取引所の運営するプロ投資家向け株式市場であるTOKYO PRO Marketに係るJ-Adviser資格取得の承認を得た。

	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	330,501	278,498	84.3%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2020年3月期 第1四半期 (2019年4月~6月)</th> <th>2021年3月期 第1四半期 (2020年4月~6月)</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>1,113</td> <td>1,030</td> <td>92.6%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>64</td> <td>141</td> <td>219.0%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>36</td> <td>108</td> <td>297.3%</td> </tr> <tr> <td>四半期純利益</td> <td>24</td> <td>74</td> <td>299.9%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当四半期末】</td> <td>9,239</td> <td>8,739</td> <td>94.6%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2020年3月期 第1四半期 (2019年4月~6月)	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月~6月)	前年同期比	売上高	1,113	1,030	92.6%	営業利益	64	141	219.0%	経常利益	36	108	297.3%	四半期純利益	24	74	299.9%	総資産 【前期末/当四半期末】	9,239	8,739	94.6%
科目	2020年3月期 第1四半期 (2019年4月~6月)		2021年3月期 第1四半期 (2020年4月~6月)	前年同期比																						
売上高	1,113		1,030	92.6%																						
営業利益	64		141	219.0%																						
経常利益	36		108	297.3%																						
四半期純利益	24		74	299.9%																						
総資産 【前期末/当四半期末】	9,239	8,739	94.6%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- 2006年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 前年同期において大型債権群からの回収等があったため、当第1四半期の売上高(債権回収高)は減少。しかしながら、収益性の高い債権の回収が順調に進捗していることから、大幅な増益となった。
- 金融機関によるバルクセール(債権の一括売却)における落札価格の高騰が続く状況下において、安定的な収益を維持するため引き続き営業活動に注力し、買取債権の増加を目指す。また、スポット的な損益ではなく債権回収高を着実に積み上げていく。

	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	862	775	90.0%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	39	29	75.6%
買取債権残高 (百万円)	7,034	8,432	119.9%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	期間	2020年3月期 第1四半期 (2019年4月~6月)	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月~6月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益		2,019	1,863	92.3%
資本金	778百万円	営業利益		876	830	94.7%
議決権の 所有割合	40.19%	経常利益		836	841	100.6%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益		560	564	100.6%
		総資産 【前期末/当四半期末】		134,466	132,855	98.8%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 2014年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- ボラティリティ(価格の変動率)の拡大により取引は増加したものの、収益性の低下により減収、営業利益では減益となった。しかし、為替相場の変動により為替差損益が改善したため、経常利益では増益となった。
- ヘビートレーダー層を確保しつつ、高金利通貨を中心に中長期で投資を行う顧客への訴求強化、取引ツールのバージョンアップを積極的に実施するなど、更なる顧客基盤の拡充を図る。
- マスコットキャラクターやアイドルイメージキャラクターの起用、ラジオ等による知名度向上を図り、各種キャンペーンも積極的に実施。

	2019年6月末	2020年6月末	前年同期比
口座数 (件)	494,050	513,936	104.0%
預り資産残高 (百万円)	113,006	112,583	99.6%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	2019年12月期 第1四半期 (2019年1~3月)	2020年12月期 第1四半期 (2020年1~3月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク	Net interest income (純資金運用収益)		50	34	68.1%
資本金	1,962百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		192	220	114.5%
議決権の 所有割合	44.31%	Profit for the period (四半期純利益)		△14	△20	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		※ 10,013	10,005	99.9%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 法人向け融資の減少と貸出金利の低下により資金運用収益は減少。一方、為替取引等の非金利収益の増加、引当金の戻入により純業務収益は前年同期比で増加。
- ロシア経済は、原油価格の下落や経済制裁などにより低成長が続いており、実質GDP(1-3月)は前年同期比で1.6%増加。また、欧米諸国による経済制裁は継続しており、中央銀行の規制強化により銀行数は減少するなど、厳しい状況が続く。
- 中堅優良企業への貸出や為替取引・貴金属取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の回収、担保物権の売却による財務状況の改善に取り組む。
(※前期末の総資産は、繰延税金資産負債を相殺したため減少しています。)

	2019年3月末	2020年3月末	前年同期比	【為替レート】 2020年3月末 1RUB = 1.37円 2020年1月~3月平均 1RUB = 1.63円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	7,077	6,798	96.1%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	5,565	5,449	97.9%	

キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	期間	2019年12月期 第1四半期 (2019年1~3月)	2020年12月期 第1四半期 (2020年1~3月)	前年同期比
			Net interest income ※ (純資金運用収益)	37	65	
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Operating income (純業務収益)	44	71	160.2%	
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Profit for the period (四半期純利益)	△11	6	-	
議決権の 所有割合	52.90%	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】	4,623	4,784	103.5%	
主要事業	銀行業					

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 当社子会社化以降における自己資本の増強により、融資残高・預金残高は継続的に増加。それに伴い、金利収入も順調に伸びており、また、引当金の戻入の影響もあり純資金運用収益と業務収益はともに増益。
- キルギス経済は、金生産の増加に伴い鉱工業生産や輸出が好調で、実質GDP(1-3月)は前年同期比で1.5%の増加。
- 中小企業や個人顧客への貸出し、オンラインバンキングやカード事業の強化に加え、システム強化等の全体的な合理化を図る。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示。

	2019年3月末	2020年3月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	3,014	3,159	104.8%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	2,438	3,014	123.6%

【為替レート】
2020年3月末
1KGS = 1.36円
2020年1月~3月平均
1KGS = 1.51円

《連結》

(単位:百万円)

商号	ixIT株式会社	期間		前年同期比	
		科目	2020年3月期 第1四半期 (2019年4月～6月)		2021年3月期 第1四半期 (2020年4月～6月)
所在地	東京都世田谷区	売上高	313	217	69.5%
資本金	410百万円	営業利益	△4	△47	-
議決権の 所有割合	96.77%	経常利益	△6	△49	-
主要事業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益	△7	△49	-
		総資産 【前期末/当四半期末】	475	383	80.7%

会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信(自社開発、他社との共同事業・運用受託形式)やモバイルアプリケーション開発を展開
- ② 2015年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックス(現ixIT(株))の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 新規事業の開始、新規顧客の開拓に向けた営業の強化及び組織改編等の実施により、新規受託案件は増加傾向となっていたものの、新型コロナウイルスの影響もあり、減収減益。
- 引き続き新規顧客の開拓に向けた営業の強化や固定費の削減を図る。また、異業種からの協業等が活発化し、従来の通信事業の枠を超えた新たな市場での厳しい競争が加速する中、将来の成長に向けた新たなサービスの創出を目指す。
- 実店舗での定額課金(サブスクリプション)サービスのスマートフォンアプリ『ファーストパスポート』では、ラーメン店やカラオケ店、生花店など、様々な業界への導入実績を上げている。さらに、新型コロナウイルスによる非密集・非接触需要に対応した小売業界向けモバイルオーダープラットフォーム(ネット注文・店舗ロッカー受取りサービス)「Bopis Cloud」の販売を開始。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第1四半期決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2020年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2019年12月期第1四半期		2020年12月期第1四半期	
		期末レート (2019年3月末)	平均レート (2019年1月～3月)	期末レート (2020年3月末)	平均レート (2020年1月～3月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=23.76MNT	1円=23.93MNT	1円=25.62MNT	1円=25.35MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.59円	1KGS=1.58円	1KGS=1.36円	1KGS=1.51円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.71円	1RUB=1.67円	1RUB=1.37円	1RUB=1.63円